

おながわ みらい.3.

[Onagawa Me Life]

特集

みんなの想い描く女川ライフ

「これから暮らしに関するアンケート」集計結果発表！



女川スケッチ
高台宅地の魅力

つながるおなが輪

夢の家づくり講座 家づくり1・2・3
ワンツースリー

第2回『ライフスタイルから住宅をイメージしよう』

描いてみよう!
『理想の間取りイメージ』



描いてみよう!

理想の間取りイメージ

用意するもの

- ペン
- はさみ

●「理想の間取りイメージ」台紙 または大きめの紙

「理想の間取りイメージ」台紙は
女川町のホームページからフォーマットを
ダウンロードできます。

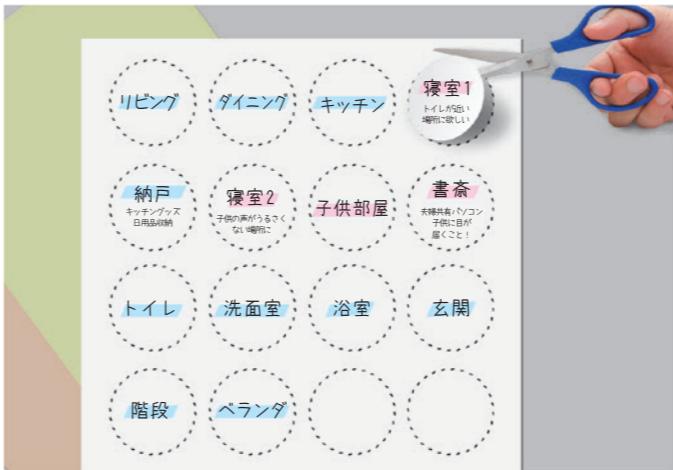
[http://www.town.onagawa.miyanagi.jp/
saiken.html](http://www.town.onagawa.miyanagi.jp/saiken.html)

ぼくの部屋は？

STEP 1

家族で相談しながら欲しい部屋や
必要な部屋を書き出してみよう

日常生活に必要なキッチンやリビング、自分の趣味を楽しめる個室など
「あんなスペースが必要」「こんな部屋が欲しい」というように、まずは思い
いた部屋名を、どんどん紙に書き出してみましょう。
ある程度出そろったら、みんなで使う空間、プライベートな空間を色分け
して、ひとつひとつ丸く切りとっていきます(左の図では、青いマーカーが
みんなで使う空間、赤いマーカーがプライベートな空間です)。

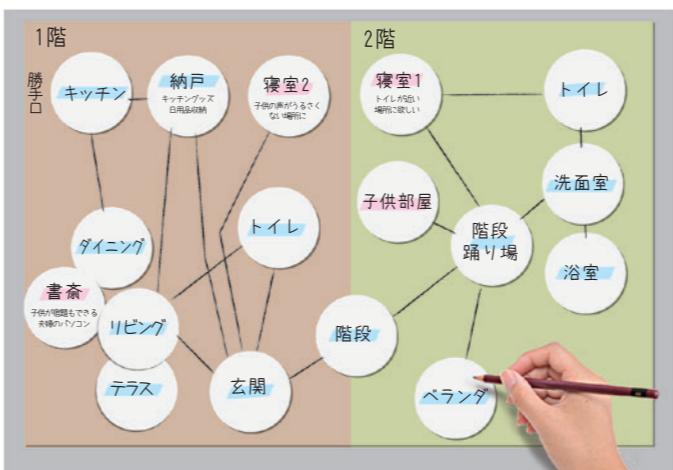


STEP 2

どんな風に暮らしたいかを想像しながら、
1階・2階に分けてみよう

1階・2階と家の敷地に見立てた紙の上に部屋名を
書きこんだ丸い紙を並べてみましょう。一般的には1階
にみんなで使う空間、2階にプライベートな空間を設
けますが、部屋の使いみちを意識しながら、ひとまず
自由に配置してみます。

私たち1階に
寝室がいいわ！



STEP 3

部屋と部屋を線で結んで、
暮らしやすい『動線』を考えてみよう

各部屋の配置を考えながら、線で結んで部屋から部屋への『動線』を考
えます。「この配置だと、リビングからお風呂やトイレがちょっと遠いかな」
「洗濯場から物干しのベランダまで近いと楽だな」など、シミュレーションを
重ねていくと、段々と“いいところ”“わるいところ”が整理され、理想の間取り
イメージが見えてきます。

この間取りイメージを持って、工務店さんやハウスメーカーさんに相談して
みましょう！ 設計をする側にとっても、家族の想いや希望が明確に分かり、
希望に添ったプランがつくりやすくなります。家族の理想を叶える家づくり
をどうぞ楽しんでください！

おながわみらいふ vol.2 2015年3月発行
発行元 女川町役場 復興推進課 復興土地利用係 〒986-2261 宮城県牡鹿郡女川町女川浜字大原316(仮設庁舎) TEL 0225-54-3131(内線239)
企画・編集 株式会社URリンクージ

本情報誌は女川町ホームページ(<http://www.town.onagawa.miyanagi.jp/saiken.html>)でもご覧いただけます。
※本誌掲載記事の無断転載を禁止します。





本アンケート結果は平成26年12月に実施した「これからの暮らし」に関するアンケートより一部を抜粋したもので、アンケート結果の詳細は女川町のホームページでご覧いただけます。

昨年12月に実施した

するアンケートでは、たくさんの方にご回答いた
だきありがとうございました。

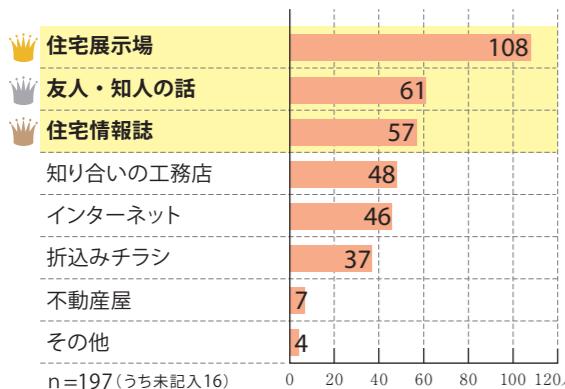
計結果をもとに、みなさまが想い描いている女川町での「これから暮らし」について紹介いたします。先行して家づくりに着手している方々のご意見もいただいていますので、ぜひこれから家のづくりの参考にしてください！

© 2019 Pearson Education, Inc.

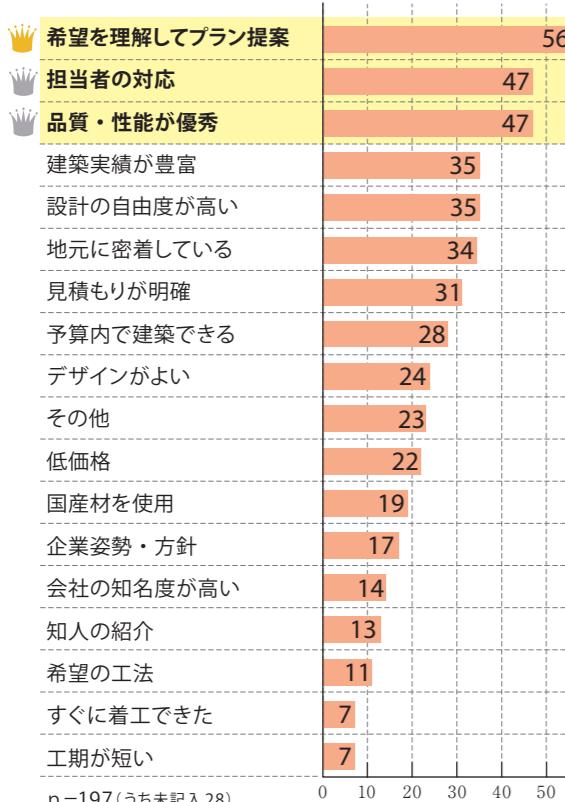
「ガーデニング・家庭菜園」、「お風呂でのくつろぎ」という順になりました。「親族が遊びにきたときにものんびりできる家にしたい」など、ゆったりとした時間を過ごすことを楽しみにされている方が多いようです。「ガーデニングコンテストなどがあったら、はりきって庭づくりします!」といったご意見もあり、今後の中づくりのなかでそういうふた輪が広がっていくといいですね。

建築着工前の約7割の
方が家づくりに向けた
何らかの準備を始められて
います。

家づくりの情報入手先 (複数回答)



家づくりパートナーを 選ぶときに重要視する点 (複数回答)

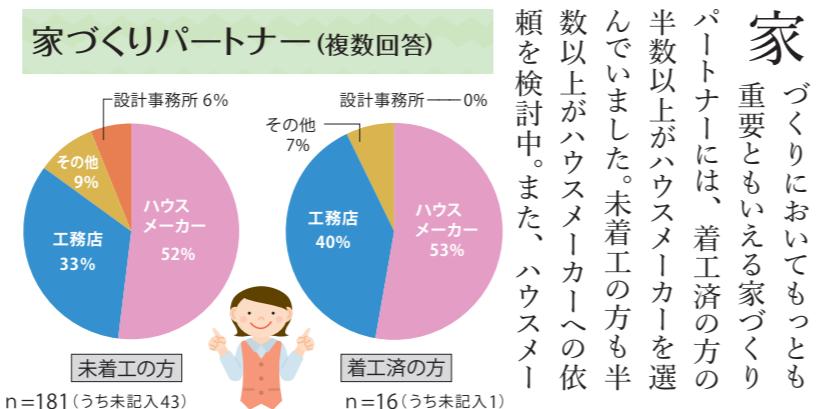


**3 実際に見て触れてみなければ分からぬ!
家づくりの情報は住宅展示場で入手が多数!**

「づくりに関する情報は、**家**「住宅展示場で入手して
いる」というご意見が圧倒的
でした。住宅情報誌を見て
いるだけでは、なかなか分か
らないことが多いですね。
実際にさまざまなモデルハウ
スを見学したり、家づくりの
プロから話を聞いてみると、
理想とする住宅の具体的な
イメージがつかみやすくなり
ます。

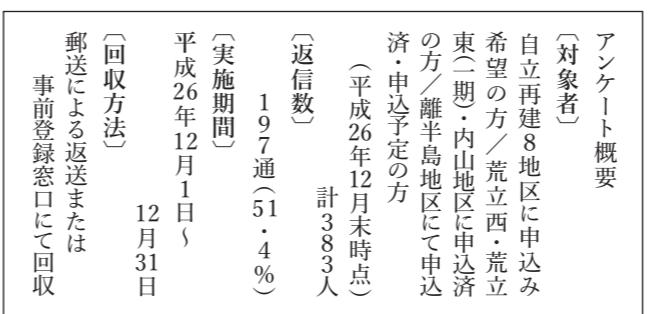
続いて「友人・知人の話」を
参考にしている方も多いとい
らつしやいました。同じ町で
家づくりを進める方々が情
報交換できるコミュニティの
場に参加したり、自らつくつ
てみるのもいいですね。

**4 建築依頼先を選ぶ判断基準は人それぞれ。
自分たちに合ったベストなパートナーを選びたい!**

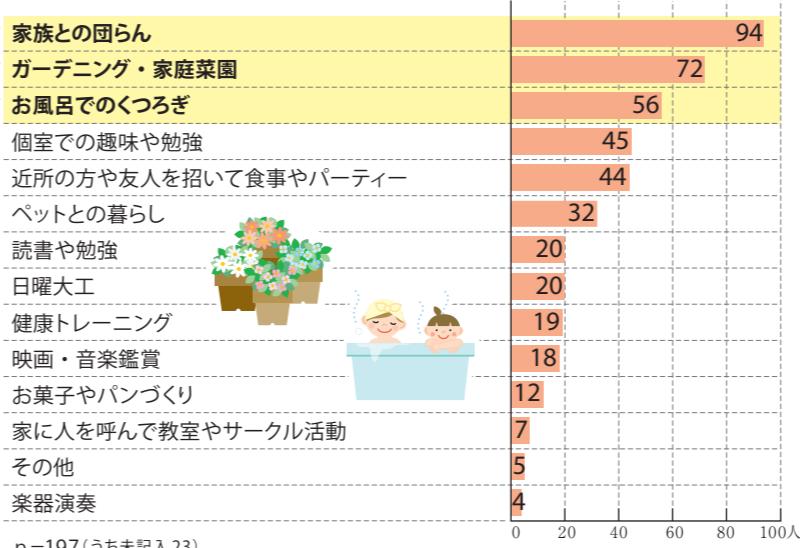


カレ、地域工務店、設計事務所それぞれに特徴がありますが、パートナーを選ぶ上で重要視する点は、「希望を理解してプラン提案」、「担当者の対応」、「品質・性能が優秀」の回答が多くなりました。着工済の方のなかには「震災前からお世話になつていて、こまめに対応してもらえる」という理由から地域工務店に建築依頼をした方も。家は建てたらゴールではなく、完成した後も依頼先との関係は続きます。家づくりで何を重視し、依頼先に何を期待するかを明確にし、納得のいく対応をしてくれるパートナーを選んでくださいですね。

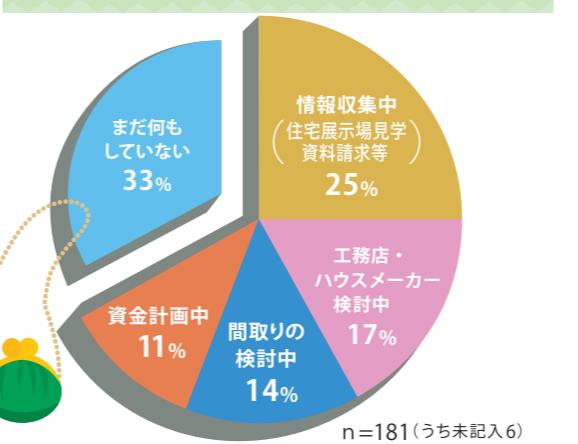
貴重な声を
ありがとうございました！



入居後の暮らしでしてみたいこと(複数回答)



家づくりの進捗状況（複数回答）



※家づくりの進捗状況について「建築着工済」「入居済み」以外と回答された方
※グラフ内の数値は複数回答による総回答数237を母数とした割合です

高台宅地の魅力

～高台を活かしたまちづくり～

新しい季節とともに、いよいよ
3月21日に町中心部のまち
びらきを迎えました。『女川スケッ
チ』では、少しづつ彩られていく女
川町の様子や、今後のまちづくり、
家づくりの参考となる情報をお届
けしていきます。



高台宅地の特徴を活かした家づくり

CASE 3

CASE 2

CASE 1

家の雰囲気に合わせた材料で装飾し
一体感を演出

前面道路や隣地への土の流出をふせぐために新たな擁壁をつくる場合、擁壁に自然石やレンガ、つる性植物など家の雰囲気に合わせた材料で装飾をすると、建物と庭に一体感が生まれます。また、その装飾を自身の手で日曜大工で行えば、楽しみながら自分好みの外観をつくることができます。



4月より擁壁整備工事の
補助金がスタート!

女川町が造成した宅地において居住者が行う擁壁設置工事に対し、補助金が交付されます。補助対象者や対象工事にはさまざまな条件がありますので、詳細は復興推進課 復興土地利用係までお問い合わせください。

プライバシーの確保された くつろぎの空間

**プライバシーの確保された
くつろぎの空間**

道路から高低差のある宅地は、リビングでくつろいでいる時など、外からの視線が気にならないという一面があります。そのため、高台から見える景色を楽しみつつ、開放的でありながらプライバシーの確保されたくつろぎの空間を設けることができます。

植栽や芝生でのり面を仕上げ
敷地が広く感じられるオープン外構

土の流出をふせぐことができ、敷地も広々と感じられます。また、敷地を塀や柵で仕切らないことで、眺望を活かした開放的な外構に仕上げることができます。



も長く住む覚悟で
を建ててているでし
うから、新しい地区
少しづつ人の繋が
をつくつたり、交流
深めていくような
ともお手伝いでき
らしいですね。



こだわりは町が一望
できる見晴らし！
近所の繋がりも
つくっていきたい。



浅野さん

たこと。玄関アプローチをゆるやかに、中もフ
ラットにして手すりも多く設けました。あとは、
せつかく家を建てたので、シンボルツリーを2本
植えようかと思つて
います。私たちが歳を
重ねると一緒に木
も大きくなつて、いず
れ子どもたちが住む
ような日が来たら、立
派なシンボルツリー
になつてゐると思つん



子どもたちのための
ふるさとに。
2本のシンボル
ツリーのある家。



夢の

家づくり講座

家づくり1 *2 *3
ワシツースリー

VOL.
02

ライフスタイルから住宅をイメージしよう

家族構成やライフスタイルによって、理想的な間取りは人それぞれ。家族の希望を詰め込んで、わが家の間取りをどうつくるかは家づくりの楽しさもあり、もつとも悩むところでもあります。間取りは建築費にも直接関係し、家が完成してからではなかなか大きな変更ができず、その後の生活を左右する大切な要素です。希望をすべて叶える間取りを実現するのは、土地の条件や予算の制約があつて難しいかもしれません、どのように暮らしたいかを想像しながらこれら建てる住宅をイメージしてみると、何を優先すべきかが見えてきます。

今回は自立再建の事前登録受付を終え、次のステップとなる住宅の間取りを考えるときに押さえておきたいチェックポイントをご紹介します。昨年実施した「これから暮らし」に関するアンケートでは「家づくりの情報は住宅展示場から入手する」という方が多くいらっしゃいましたが、このチェックポイントを把握しておくと、これから住宅展示場やショールームなどを見る視点も変わってくるはずです。大切なポイントを理解して、希望の暮らしを叶える家づくりを楽しみましょう。

本当に必要な部屋数は？
ライフスタイルの変化から想像してみよう。

家族それぞれの個室やリビング、客間など、かつては部屋数を重視した家づくりが主流でしたが、「子どもが独立したら物置部屋になってしまった」「個室を増やしたら開放感が少なくなってしまった」などの声も多く聞かれます。家族構成の変化によって生活スタイルも変わり、最適な部屋数も変わっていきます。最近では、壁の代わりに開閉式の間仕切りや可動式の家具で部屋を区切るなど、はじめから部屋の間取りを変更できるようにしたつくりの住宅も増えています。

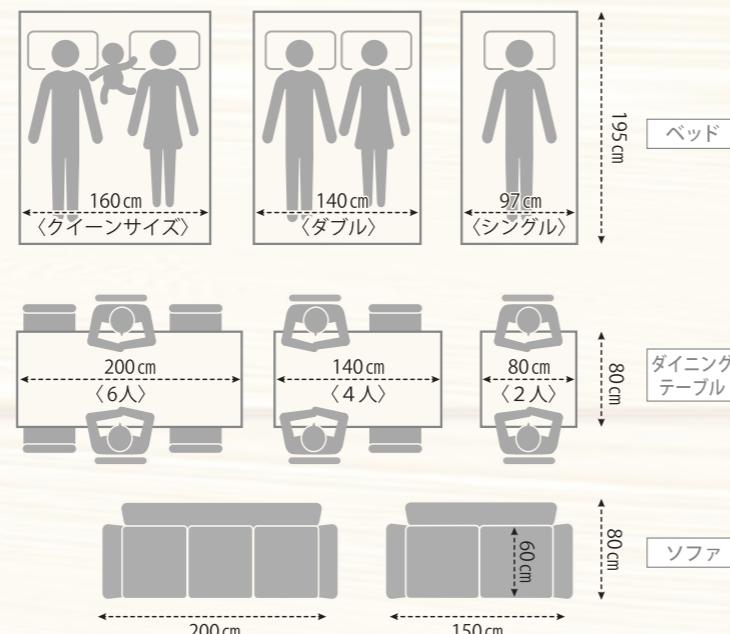
本当に必要な部屋数は？
ライフスタイルの変化から想像してみよう。

おながわみらいふ 05

チェックポイント ④
家具や収納などの配置やサイズもイメージして部屋の広さを考えよう。

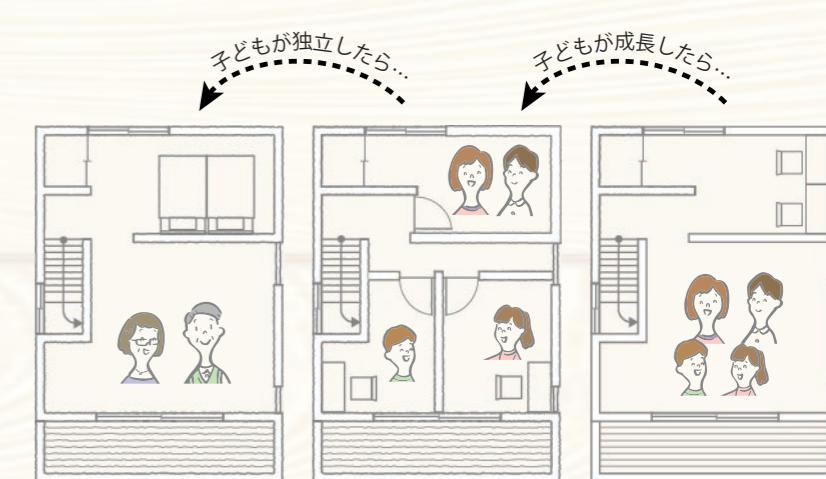
間取りを検討する際には、大型の家電や家具、収納スペースなどのサイズも部屋の一部として考えましょう。部屋に置くもののサイズを認識しないと「ソファを置いたらリビングが思つたよりせまくなってしまった」「キッチンにモノが多くて使いづらい」などの問題がおきてしまします。家電や家具のカタログ、雑誌などを参考にさまざまなもののサイズを把握しておきましょう。

主な大型家具のサイズ(目安)



みんなで集まる団らんスペース
自分の時間を楽しむ個室など
部屋の使い方を考えよう。

住宅の機能は大きく「家族が集つて使う空間」「個人的に使う空間」「トイレやキッチンなど生活に必要な空間」の3つに分けることができます。注文住宅の場合は自分の暮らしを想像し、使い方を考えながら部屋を設けていくことができますが、規格型の住宅を選択した場合、各部屋の機能や使い方を明確にする必要があります。使い方を考えずに建築してしまうと、後から寝室にしようとthoughtてもベッドが入らないといったことが発生してしまいます。



暮らしやすい「動線」から部屋の配置を考えよう。

長く快適に暮らし続ける家づくりのため、家族の動きや居場所、生活の「動線」をイメージしながらそれぞれの部屋のつながりを考えます。特に洗濯・掃除・食事など毎日するすることは効率的に行いたいもの。「洗濯し、干して、しまう」「食料品を買って保管し、調理・盛りつけして、食べて、片づける」など、一連の動作から収納まで、効率を考えて目的の場所を近づけたりまとめて、する工夫をしましょう。

